

第2期

# 別府市教育大綱

令和3年3月  
別 府 市

## はじめに

2020年は、新型コロナウイルスの影響で市内の幼稚園・小学校・中学校が一斉に臨時休校を余儀なくされるなど、明治時代から150年間続いてきた現在の教育システムが大きく揺さぶられました。これまで誰も経験したことがない状況に際し、本市と教育委員会は一丸となって子どもの不安な心に寄り添い、一人ひとりの学びを決して止めないように全力で取り組みました。そのことが、これまでの「同じ年齢の子どもが、同じ時間と場所で、同じペースで勉強する」という一律一斉の学校のあり方を見つめ直す契機にもなりました。

平成から令和の時代へ、私たちを取り巻く社会は物凄いスピードで大きく変化しています。その変化を敏感に感じ、学びから逃避する子どもや自分の将来を見つけることに困惑する人たちも増えています。自分の好きなことや得意なことを伸ばし、自分らしく生きたいように生きるためには、それを認めてあげる環境が必要です。同時に、自分と関わる周りの人たちの自由も認めてあげることが求められます。決して答えは一つではなく、多様な考えかたや生きかたが尊重されなければなりません。

このたびの「第2期別府市教育大綱」の策定にあたっては、ウィズコロナだけでなく、アフターコロナを見据えて、総合教育会議の場で教育委員会と熱い議論を重ねました。明治以来の教育システムについて大きな方向転換を図り、本市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の根本方針となるように、これからの時代を生きる「目指す人間像」を基本理念と位置づけました。そして、その実現に向けて「3つの柱」と「10の学びの姿」を提示しています。

本市は、第4次別府市総合計画で「地域を磨き、別府の誇りを創生する」ことを目指しています。また、第2期別府市総合戦略では「ひとを大切にし、別府で子どもを産み、育て、生きる」ことをひとの創生として掲げています。第2期別府市教育大綱は、これらの計画とともに、地域が人をつくり、人がまちをつくる好循環を持続的に生み出す取り組みを推進するものです。すべての市民が互いを尊重し、健康で自分らしく幸せに生きていけるように、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年3月

別府市長 長野恭紘

## 目 次

1	策定の趣旨	1
2	大綱の位置づけと期間	1
3	大綱の体系図	2
4	基本理念<目指す人間像>	3
5	基本方針	5

## 1 策定の趣旨

平成 26 年（2014 年）の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、「地方公共団体の長は、教育基本法第 17 条第 1 項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする。」（第 1 条の 3 第 1 項）とされました。

これを受け、別府市では、平成 28 年（2016 年）に第 1 期別府市教育大綱を策定しました。その第 1 期別府市教育大綱が令和 2 年度をもって期間満了することから、来るべき未来の教育像を見据え、社会環境や生活様式の変化なども念頭に置き、改めて本市における教育の方向性を示すため、第 2 期別府市教育大綱を策定します。

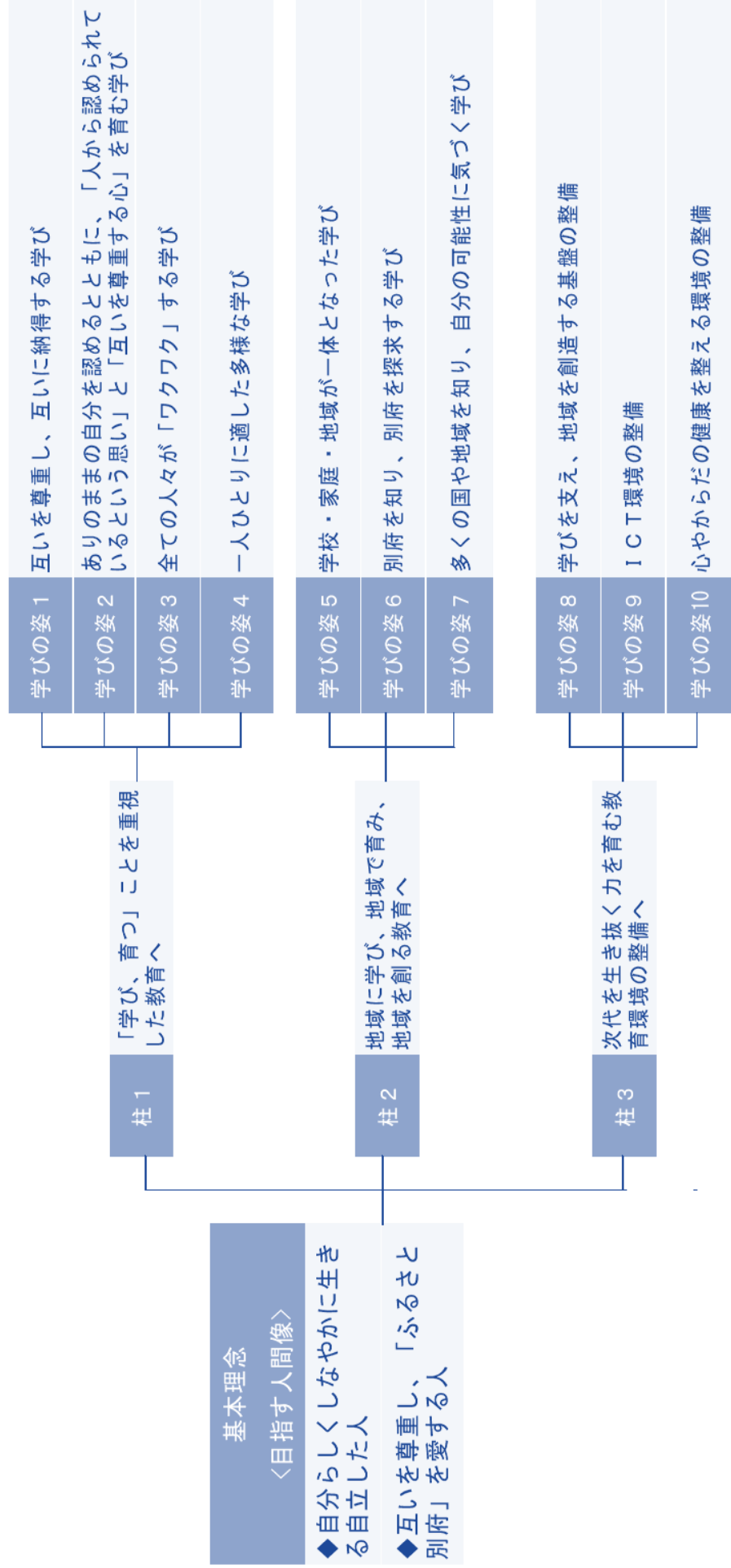
## 2 大綱の位置づけと期間

この第 2 期別府市教育大綱は、国の「第 3 期教育振興基本計画」を参酌し、市政運営の最も基本となる計画である「第 4 次別府市総合計画」と「まち・ひと・しごと創生 第 2 期別府市総合戦略」との整合性を図り、今後の具体的な施策や取組を示していくことになっています。

また、この第 2 期別府市教育大綱の期間は、令和 3 年度から令和 6 年度の 4 年間とします。

計画等	年度	平成 30	令和 元	2	3	4	5	6	7	8	9
国の第 3 期 教育振興基本計画		→									
第 4 次 別府市総合計画			→								
第 2 期 別府市総合戦略			→								
第 2 期 別府市教育大綱				→							

### 3 大綱の体系図



## 4 基本理念<目指す人間像>

# 自分らしく しなやかに生きる 自立した人 互いを尊重し、「ふるさと別府」を愛する人

これまでの製造業を中心とした産業構造がサービス業中心へと変化するとともに、すべての人とモノがインターネットでつながることで新たな価値が生まれ、人工知能（AI）により必要な情報が必要な時に提供され、ロボットや自動走行車などの技術で人の可能性が広がる「Society5.0」（注1）という取組による新たな社会が始まっています。さらに、近年世界中が気象の急激な変化や自然災害の頻発化・激甚化にさらされている中、新たに新型コロナウイルス感染症が広がってきています。そのような中、今後は新しい生活様式に加え、これまでの常識や価値観を変えていくことが必要な予測のできない社会が訪れようとしています。

また、みんなで同じように同じことを行うことが重視されてきた時代から、社会が成熟し、新たな価値観が生まれ、生き方、考え方などが多様化し、個性が重視される時代になってきています。そのような中で、生涯を通じて自分の「好き」を探求し、自分にしかできないことに挑戦し、自分の好きなものや得意なものを伸ばし、自信が持てることで、互いを尊重し、個性豊かに自分らしく生きていくことができます。

さらに、これまで経験したことのない社会環境や生活様式に変わろうとしている中、困難や逆境に屈せず、変化に合わせて生きることがこれまで以上に求められます。こうした社会の変化に対応した自分らしい生き方ができるためには、前例にとらわれることなく、変化に向けた一歩を踏み出すことが必要となります。時代の変化に柔軟に対応することのできるしなやかさと、失敗を恐れない発想力と創造性を兼ね備え、自分にあった生き方などができる自立した人が求められます。

---

一方、どんなに社会が変わろうとも、変わらずに大切にしなければならないことの一つに「幸せに生きる」ことがあります。「幸せに生きる」とは、健康であること、自分らしく生きることに加えて他者と協力し合いながら前向きに生きることです。

別府市は、国内はもとより国外からも多くの観光客が訪れます。また、大学や病院、福祉施設などがあり、多様な人々がともに生きる多様な社会を形成しています。多様な社会では、地域の人々はもちろんのこと、国籍や民族の異なる人々とも互いに違いやそれぞれが持っている能力を認め合い、互いを尊重することが大切です。

また、別府に生きる人々は、別府の歴史・伝統・文化などを知り、ともに別府を創る仲間として、別府を「ふるさと」として改めて認識し、「ふるさと別府」を学び、「ふるさと別府」を愛する人を育むことも大切です。

市民一人ひとりが幸せに生きるまちづくりのために、「自分らしくしなやかに生きる自立した人」「互いを尊重し、『ふるさと別府』を愛する人」を育てていきます。

(注1)狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会という意味で、政府の第5期科学技術基本計画(2016年1月)において初めて提唱された考え。



## 5 基本方針(柱1)

基本理念の実現に向けて別府市は3つの柱による取組を進めます。

# 「学び、育つ」ことを重視した教育へ

自らが新たなことを学び、考え、試行錯誤することで、育つことを重視した教育を進めます。

学びの姿

1

### 互いを信頼し、互いに納得する学び

一人ひとりが相手の言動に寄り添い、思いを引き出し、信頼し、任せて、待って、支える「互いの信頼と納得」による学びを進めます。

学びの姿

2

### ありのままの自分を認めるとともに、「人から認められているという思い」と「互いを尊重する心」を育む学び

他者との関わりの中で、「大切にされている」、「誰かの役に立っている」、「必要とされている」などの自己有用感を育み、互いを尊重する心を育む学びを進めます。

学びの姿

3

### 全ての人々が「ワクワク」する学び

創造的な思考をかきたて、自分なりに問いを立て、他者と協働し、答えにたどり着く探究的な学びを通じて、ワクワクする喜びに満ちた学びを進めます。

学びの姿

4

### 一人ひとりに適した多様な学び

一人ひとりの個性や特性、興味・関心などが異なることを前提として、一人ひとりに適した多様な学びを進めます。



# II 地域に学び、地域で育み、地域を創る教育へ

「ふるさと別府」を探求し、交流を通して多文化を知るとともに、別府を育み、新たな「別府」を創る学びを進めます。

学びの姿

5

### 学校・家庭・地域が一体となった学び

「地域の学校は地域で創る」、「地域は自分たちで創る」との認識を共有し、子ども、保護者、地域住民、教職員が対話を重ね、共通の目標や地域の課題に向かって、ともに取り組む協働による新たな学びの場づくりを進めます。

学びの姿

6

### 別府を知り、別府を探究する学び

別府の自然や観光、温泉、歴史、伝統、文化とそれに携わる人々の工夫や努力などを知り、「ふるさと別府」を探究する学びを進めます。

学びの姿

7

### 多くの国や地域を知り、自分の可能性に気づく学び

多文化共生社会の一員として、多様な人との交流を通して、新しい自分の発見や可能性を見つける機会と学びを進めます。

# III 次代を生き抜く力を育む教育環境の整備へ

これから来る予測ができない社会に対応できる人を育むために、一人ひとりが「学び、育ち、地域で暮らし、創造できる」環境の整備を進めます。

学びの姿

8

### 学びを支え、地域を創造する基盤の整備

一人ひとりの暮らしを創造する地域の拠点を整備します。

学びの姿

9

### ICT 環境の整備

「情報活用能力の育成」や「ICT 機器を効果的に活用した新たな学び」を実現する環境整備を進めます。

学びの姿

10

### 心やからだの健康を整える環境の整備

一人ひとりが生涯にわたって、健康の増進、運動やスポーツに取り組み、心身ともに健やかで心豊かに充実した生活を送ることができる環境を整備します。